

令和6年度授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立第二中学校（ S組 ）

目指す授業		<ul style="list-style-type: none"> ○既習内容を活用する活動を充実させ、学習内容を定着させる授業 ○学習内容に関する生活に即した知識・技能を増やし、その知識・技能の活用方法に具体的なイメージをもたせる授業 	
教科	① 児童・生徒の実態・課題	② 授業改善の取組	③ 取組結果
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○拗音、促音、濁音の表記の仕方や助詞の使い方が定着していない生徒がいる。 ○漢字の読み書きに課題があり、文章を円滑に読めないことがある。 ○慣用句やことわざなど、意味を知らない語彙や言い回りがあり、日常生活で使用する言葉の意味を理解できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○短文の作成や語彙を表記する取組を通して、拗音、促音、濁音の正しい表記の仕方や助詞の適切な使い方を身に付けさせる。 ○継続的に漢字学習の取組を行う。また、タブレットを用いた問題演習や音読などの取組を通して、覚えた漢字をアウトプットする機会を設ける。 ○言葉の学習を通して、語彙の知識を増やす。また、日常生活における具体的な使い方を確認し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○短文の作成や語彙を表記する取組を通して、語彙の正しい表記の仕方をおおむね身に付けたが、定着が十分ではない。今後も継続して定着を図る必要がある。 ○漢字学習の取組を通して、漢字を使う回数や読める漢字の量が増えた。 ○言葉の学習を通して、意味を理解している語彙の量が増えた。今後も継続して取り組み、語彙の知識をより増やす必要がある。
算数・数学	<ul style="list-style-type: none"> ○お金の計算や時間の計算などを日常生活の場面で活用することに課題がある。 ○整数の四則計算は、個による差が大きい。 ○文章問題は、文章の理解が難しい生徒や解法が思い浮かばない生徒がいる。 ○小数・分数の計算に、不安を抱える生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活の場面を想定した問題に取り組ませる。また、ロールプレイ形式を取り入れたグループ学習に取り組ませる。 ○個の学習状況に応じて、かけ算表など活用する手だてを伝え、問題に取り組ませる。また、プリントを段階的に用意し、取り組ませる。 ○繰り返し短い文章の読解を通じて、文章問題を読むことに慣れさせる。また、文章中の重要語句に注目させ、問題に取り組ませる。 ○タブレットを活用し、小数や分数の仕組みを視覚的に示したり、計算パズル等に取り組ませたりすることで、楽しんで取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活の場面を想定した問題に多く取り組ませることで、お金の計算や時間の計算をする力が向上した。 ○基礎的な計算については、個別の課題等を用意し、今後も継続して定着を図る。 ○授業の中で多くの文章題に取り組み、文章中の重要語句から計算方法を予想する力が向上した。 ○タブレットを活用し、小数や分数の仕組みを視覚的に示したり、具体物の操作やロールプレイ形式を取り入れたことで、計算の概念を理解させることができた。